

日本商工会議所懇談会で会頭が原子力政策提言

7月17日に東京で開催された日本商工会議所夏季政策懇談会において、敦賀市の状況を踏まえ、原子力政策に関する提言について有馬会頭が発言しました。

有馬会頭は、「低廉かつ安定的なエネルギーの供給確保について」発言し、地元は、大きなリスクを負う中で、国策として、40年間わたり真摯な姿勢で協力してきたが、今は大きな動揺・不信の中にある。また地域経済は疲弊し、雇用も大きく縮小している。我が国の将来においても、原子力は低廉で、安定的なエネルギー供給・確保に当たっての「基軸」である。ついては、以下の4点について、日商から政府や自民党にスピード感をもって強く訴えるべきであると述べました。

提言内容

- ①新安全基準に基づき、安全が確保された原発からすみやかな再稼動をすべきである。
- ②規制委員会は、その議論や結論の考え方が全くもって、独善、排他的と言わざるを得ない。ついてはその委員会を後から管理、チェックする「第三者委員会」を早期に設置すべきである。
- ③県・市が行う各種の経済対策への、国の財政出動（支援）を速やかにすべきである。
- ④原子力によるエネルギーの供給の必要性・重要性を国が責任を持って、とくに、消費地への理解を進めるべきである。

国際原子力研修を受け入れ

IAEA（国際原子力機関）と若狭湾エネルギー研究センターなどと共同で、アジア各国の原子力新規導入国の政策決定権者直前の行政官らを対象に、日本の最新の原子力技術の紹介を目的とした研修会を開いています。7月16日には敦賀商工会議所を訪れ、当所は「敦賀市の経済動向、原子力発電所と地元経済に関する状況」の説明をしました。



嶺南地域振興推進協議会報告

嶺南に誘客を！ 要望書提出 嶺南地域振興推進協議会を開催

嶺南地域振興推進協議会商工部会は7月25日に、小浜市内のホテルで懇談会を開きました。

県には北陸新幹線若狭ルートや、舞鶴若狭自動車道が全線開通を好機と捉え、周年型の集客・誘客イベントの支援を要望しました。

- 1 嶺南地域一円をステージとした、周年型の誘客イベント実施に向けた組織づくりへの支援・参画および開催への支援
- 2 地場産食材を積極的に活用するとともに、訪れた人々に「癒やし」を提供する「光と花」を大きなテーマに掲げる。

議員職務執行者の変更について

事業所名	後任者	前任者
敦賀市神楽町一丁目商店街振興組合	理事長 谷口正宏	理事長 川島可苗
日本原子力発電(株) 敦賀地区本部	常務取締役 敦賀地区本部長 和智信隆	常務取締役 敦賀地区本部長 高辻哲
北陸電力(株) 敦賀営業所	所長 竹内良行	所長 山田仁史